



ゆずり葉

にのみや学園
二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第 120 号
山西小学校 72-3777

修了式・卒業式

〜節目を生かす〜

1 年間ないし 6 年間の「教育」活動を経て修了・卒業の時を迎え、心身ともにたくましさあふれる子どもたちの姿が多く見られますことは、保護者・地域の皆様との「共育」の成果でもあります。心より感謝申し上げます。



さて、日本を代表する竹は、雪の重みにも強い風雨にも耐えてたくさん節をつくり、まっすぐ空に向かって成長します。また、わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに、何百 kg にも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっています。そのたくましさを秘め、軽さと強さを併せ持つ規則正しい間隔の節目にあるとされます。そのような力をもつ竹は、種から発芽するまでに 4 年以上もかかり、その間、地下で 1



年間に 7 ～ 8 m もの根を張って地上の竹を支える準備をするといわれます。やがて芽が出ると、節目ごとに成長点をもつて 1 日に 80 ～ 100 cm 成長し、2 か月弱で 20 m にもなります。目に見える成長の姿とともに、目には見えない支える力とのバランスは、私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。



竹の地下茎 (<http://www.synapse.ne.jp/k-nishizono/take/19.html>) より

竹が節をつくり、外からの力をしなやかに受け止めて力強く成長する姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうと粘り強く取り組む姿そのものです。併せて学びの過程で、目に見える行動や成果だけでなく、それらを支える外からは見えない心の葛藤とともに、意欲につながる努力の大切さや自分を支えてくれる周りへの感謝の心を教えてくれます。

子どもたちがまっすぐな心をもって、たくましく育つことは、親や教師だけでなく一歩先を生きる者なら誰もがもつ願いです。しかし、現実には、人間関係をはじめ様々な困難が次々と降りかかることが多い今日です。それだけに、成長段階のそれぞれの節目において、めあてをもって進み、振り返ることが大切です。その積み重ねが、しなやかさと力強さの基となる節を築き、これから出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源となるものと信じます。

豊かな学びの一年間で 保護者・地域に支えられて

3 学期も短いながら、子どもたちはいろいろな経験をする事ができました。

- 1 年生：「昔遊び研究会」の皆さんに、駒回しやお手玉など、いろいろな遊びを教わりました。
- 2 年生：給食センターの栄養士さんに、給食ができるまでの工程や栄養について教わりました。
- 3 年生：二宮小学校の 3 年生とオンラインで総合学習の成果を発表し合いました。
- 4 年生：備前焼の陶芸家の方に焼き物の工程を教わり、陶芸の体験をさせていただきました。
- 5 年生：最上級生になるにあたり、たてわり班活動の上手な進め方を 6 年生から教わりました。
- 6 年生：OB の先生から水墨画の描き方を教わりました。

授業以外でも、多くの皆様に支えられています。

- 登下校時の見守りをしていただき、安全安心な毎日を送ることができました。
- 学校の玄関に花を飾ってくださり、彩を添えてくださいました。
- 読み聞かせをしていただき、想像力や感情が豊かになるきっかけをいただきました。
- PTA の皆様には、登校班や学校の環境整備、楽しいイベント企画など、お世話になりました。
- 学校運営協議会の皆様には、学校運営上の課題や願いを一緒に考えていただきました。

(今号は1のページのみです。)

